

視察報告書

所属会派	おかや未来研究室	委員氏名	宇野 香二
視察の名称	南箕輪村の行政視察		
日程	令和6年 7月31日（水）10時～11時30分		
視察内容等	南箕輪村における人口増加の要因―移住者も暮らしやすい環境作り 三澤澄子副議長、議会事務局高木謙治次長、高橋里江地域づくり推進課長 （おもに説明および質疑応答）による		

【概要と内容および感想】

- 概要として、人口16079人（今年7月1日現在）、移住者の割合は73.3%（2022年3月策定の地域福祉計画におけるアンケート結果による）、社会増と自然増の両面で人口が増加している（足元で死亡数増加により、自然減に）。30代から50代層が多く、高齢化率も23.8%で県下で最も低く、若い村である。
- 移住者が多い理由としては、子育て支援の充実と近隣市町村の比べて地価が安いということであった。ただ、移住者を増やすために子育て支援に力を入れたというよりも、「日本一の子育てに優しい村」をめざして、今いる村民の子育てを応援しようと早い時期に取り組んできたところ、口コミで広がり、結果的に移住者が増えたということで、大変に印象的であった。
- 女性がかがやき、活躍している村であるという事を感じた。実際のところ、村役場の管理職の半数が女性とのことであった。同席した副議長によれば、議場における理事側は半数が女性とのことであった。これも、単に女性の管理職を増やそうと取り組んだというよりも、子育て支援にも関連して、女性の就業支援にこれまで継続的に取り組んできた結果ではないかと思われた。
- 自治会の改革にも取り組んでいるということ。なかなか手を付けられない事に、村長が率先して推進しているとの印象をもった。持続可能な自治会を目指して、高齢化等もあり負担を減らしつつ、村で出来ることを引き受けるとのこと。岡谷市としても、同様の課題があるので、今後の取り組みを注視するとともに、大いに参考にしていきたい。
- 地域おこし協力隊の活躍も注目される。現在12人が活動中だが、随時受け付けているとのこと。たとえば、専門知識が必要な森林の管理など、既存の職員だけでは対応が難しかった分野で活躍しているとの事で、岡谷市としても、参考にしていきたいと思う。
- 感想としては、まず自治体としては、今いる住民を大切に、魅力あるまちづくり、住みよいまちづくりを目指して、継続的に政策の推進に取り組んでいくことが王道であり、肝要であるということ、改めて確認する事が出来たと思う。

2024年8月5日

